

坂の上の雲ミュージアム概要説明（ガイドのみなさま用）

坂の上の雲ミュージアムでは、司馬遼太郎氏の小説『坂の上の雲』に描かれた松山出身の 3 人の主人公の足跡や“明治”という時代に関する展示を行っています。

※毎年テーマを新たに行う「企画展」の詳細は、[特設ページ](#)をご覧ください。

小説『坂の上の雲』について

小説『坂の上の雲』は、1968（昭和 43）年から約 4 年半、1296 回にわたり産経新聞（夕刊）に連載された司馬遼太郎氏の作品です。軍人の秋山好古・真之兄弟、俳句の革新者として知られる正岡子規という、松山出身の 3 人の主人公らが登場し、彼らの生き方や近代国家として成長していく明治日本の姿が描かれています。2009（平成 21）年からの 3 年間、NHK のスペシャルドラマとしても放送されました。

※当館の「新聞連載の壁」には、新聞連載された全話が挿絵付きでずらりと並んでいます。

「『坂の上の雲』のまちづくり」について

坂の上の雲ミュージアムは、松山市のまち全体を屋根のない博物館とする「坂の上の雲フィールドミュージアム構想」の中核施設として 2007（平成 19）年に開館しました。松山市は、3 人の主人公たちの生き方に学びながら、ゆかりの史跡や松山固有の地域資源を再発見・再活用しようとする「『坂の上の雲』のまちづくり」に取り組んでいます。

安藤忠雄氏による設計

ミュージアムの設計は、世界的建築家・安藤忠雄氏が手掛けています。城山にも市街地にも面したこの場所で、立地する周辺（松山城・萬翠荘）との調和を図りつつ、松山城のみどりの景観に自然と歴史を感じていただける造りになっており、各階はひとつづきのスロープでつながっています。『坂の上の雲』を目指して坂をのぼっていった主人公たちに想いを馳せて設計されたもので、空に向かって 5 度広がった逆三角錐の建物になっています。なお、安藤忠雄氏の寄贈により、2025（令和 7）年 7 月には「こども本の森 松山」もオープンしました。

そのほかお知らせ

・開館時間は 9:00～18:30（最終入館 18:00）です。

※開館日は[休館日カレンダー](#)でご確認のうえ、お越しください。

・2 階フロアは入館無料です（カフェやライブラリー・ラウンジもご利用いただけます）。

・敷地内は全域禁煙です（喫煙場所はありません）。

・駐車場の用意はありません。公共交通機関や周辺のコインパーキングをご利用ください。

・館内での撮影について、建物・設備は可能ですが、展示物等の接写はご遠慮ください。

※一部撮影可能な展示物には個別に表示しています。